

収集の基本方針

写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する。

[写真作品]

- 1 国際的な視野に立って、国内外の芸術性、文化性の高い作品を幅広く収集する。
- 2 写真の発生から現代まで、写真史の上で重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集する。
- 3 歴史的に評価の定まった作品を重視するとともに、各種の展覧会等で高い評価を受けた作家・作品の発掘に努め、現代から未来を展望した収集を行う。
- 4 東京を表現、記録した国内外の写真作品を収集する。
- 5 日本の代表的作家については重点的に収集し、その作家の創作活動の全体像を表現し得る点数を収集する。

[写真資料]

- 1 出版物（写真集、専門書、雑誌等）については、写真文化に関するものを歴史的、系統的に収集する。
- 2 ネガフィルムの種類については、作家・作品研究などに必要と考えられるものを収集する。
- 3 ポスターなど、写真展の付属資料（図録、チケット等）を収集する。
- 4 その他、作家や作品の関連資料、周辺資料を適宜収集する。

[写真機材類]

- 1 写真の原理と発掘の歴史、ソフトとハードの接点を理解させる展示に必要なものを収集する。
- 2 体験学習などの事業活動に必要なものを収集する。

[映像資料]

- 1 映像文化史を展示するのに必要な映像資料を系統的に収集する。
- 2 体験型の展示を行うため、映像装置などのレプリカや模型を計画的に製作する。
- 3 日本およびアジアの映像文化史についての調査研究を進め、重要な映像資料を収集する。
- 4 各映像ジャンルの代表的な映像資料および芸術価値の高い作品を収集する。

[作品の収集の目標]

長期収集計画 75,000点以上

内訳：国内・海外50,000点以上

写真作品以外の資料25,000点以上